▣お富與三郎（六巻）

帝キネ芦屋時代映画

原作者　江島繁氏
脚色者　木村一馬氏
監督者　唐澤弘光氏
撮影者　高橋武則氏

――主要役割――

切られ與三明石綠郎氏
横櫛お富　松枝鶴子嬢
蝙蝠お喜代

赤間源左衛門　實川延笑氏
蝙蝠安　中村翫曉氏
新助　片岡紅三郎氏

【略筋省略】

所謂新解釋の「玄治店」とも云ふのか、こう妙に改作されては聊か悪である。綺麗新助の色の藝妓がお富に生寫しだなんてこの原作者も中々芝居氣がある。脚色も監督も二番目ものの意氣で總て芝居掛りでやつてのけて居る所なんぞ嬉い所があると云ふものである。松枝鶴子嬢のお富はこれで三度目のお富だが度重なるにつれて悪くなるのは如何したものか。「天滿のお蝶」に於ける仇姿の方が遙かにお富らしかつた。明石綠郎氏の與三郎はスッキりはして居るが下司な所がまるのであんまり感心しなかつた。中村翫曉氏の蝙蝠安は臭い所が此映畫の味に調和して乙な芝居と化して居る。撮影は平凡。お富お喜代のダブルロールは餘り上出來でけない。

――山本綠葉――

興行價値――「玄治店で」有名なお富與三郎を主役に拵つて居るから同じ新作でもお客を呼ぶに都合が好い。（四月廿二日、大阪芦邊劇場、いろは座、神戸相生座封切）